

## 運営活動

- 総会  
正会員により構成され原則毎年1回開催します。  
事業計画・報告、予算・決算、役員任免、会則の制定、および運営委員会において必要と認められた事項についての審議を行います。
- 理事会・運営委員会  
総会の議決事項の執行、会員の入退会、会の運営に関する事項、および会務の執行に関する重要事項についての審議を行います。

## 入会のメリット

- 外部講師によるレクチャーなど最新の技術情報を得られます。特に、ワーキンググループの活動に参加すると、アドバイザーとして参加されている専門家の意見を聞くことができます。
- IPABの会員間での情報交換、親睦ができます。  
IPABには異業種の民間企業や、幅広い分野の学術関係者が参加しています。
- シンポジウムなどの機会に、展示ブースやランチョンセミナーなど、会員の活動をアピールする場が得られます。
- 国や公的機関が募集するプロジェクト等へ、IPAB会員間でグループを作り、提案する機会が得られます。



ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。  
E-mail [office@ipab.org](mailto:office@ipab.org)  
URL <http://www.ipab.org/>

## 会費

### 正会員

この法人の目的に賛同して入会し、活動を推進する個人

### 法人会員

この法人の目的に賛同して入会し、活動を推進する法人

入会金	0円	
年会費	正会員	3,000円
	法人会員	250,000円

## 入会申し込み方法

並列生物情報処理イニシアティブへの入会を希望される方は、IPAB ホームページから申込用紙をダウンロードして、必要事項をご記入の上、郵送、ファックス、または E-mail にて、IPAB 事務局までお申し込みください。  
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

NPO法人 並列生物情報処理イニシアティブ  
IPAB 事務局  
〒105-0003  
東京都港区西新橋 1-2-9 日比谷セントラルビル 14 階  
Tel 03-5830-3819 Fax 03-5830-3922  
E-mail [office@ipab.org](mailto:office@ipab.org)  
URL <http://www.ipab.org/>

特定非営利活動法人  
並列生物情報処理イニシアティブ

# 入会案内



## IPABについて



特定非営利活動法人  
並列生物情報処理イニシアティブ

理事長  
**秋山 泰**  
(東京工業大学 教授)



生命科学の急速な発展は、健康、医療、創薬、農業、畜産、環境、エネルギーなど広い分野において我々の社会に革新的な変化を起こしつつあります。

生命現象の本質は、膨大な遺伝子が複雑な制御関係で結ばれたものであり、今ではバイオテクノロジーはこの複雑な生命プログラムの理解と制御が中心的な課題となりました。しかし膨大化した生物データの解析にはパソコン程度の能力では全く歯が立たず、深刻なボトルネックの一つになっています。

我々は並列生物情報処理イニシアティブ (IPAB) を1999年に設立し、並列計算機、加速用ボード、ネットワーク、クラウドシステム等の最新のIT技術をバイオデータの解析に具体的に利用する方法について、分野や業界を超えた情報交換と啓蒙の場を提供して参りました。IPABの長い活動を支えてきたのは会員(正会員・法人会員)の力です。この機会にぜひIPABにご入会いただき、バイオとITの融合領域の育成にお力を貸していただければ幸いです。

## ワーキンググループ

### 医療情報WG

医療情報WGは、パーソナルゲノム時代に個人が簡単に利用できる高速なゲノム・トランスクリプトームならびに知識情報処理環境の構築を助けるために、背景としてのゲノム医学ならびに、システム実現のための要素技術に関する情報共有を行います。

- ▶ 担当理事  
日紫喜 光良(東邦大学)、小西 史一(東京工業大学)、山本 修司((株)リジット)

### 創薬情報WG

創薬情報WGは、「京」やTSUBAMEなどのスパコンにおいて、重要な応用分野の一つとして必ず挙げられる創薬支援について、最新の情報提供や会員の交流を目指しています。物理学や化学、薬学、情報科学を有機的に結びつけ、非連続的なオープンイノベーションを目指します。

- ▶ 担当理事  
関嶋 政和(東京工業大学)、藤谷 秀章(東京大学)

### ゲノム情報WG

ゲノム情報WGは、大量のゲノム配列&発現情報から、効率的に深い知識を抽出するための手法と並列分散処理について考えます。ヒトゲノム解析と臨床応用については医療情報WGとも連携しますが、さらに生活環境・社会環境構築の視点から微生物メタゲノム解析等を扱います。

- ▶ 担当理事  
秋山 泰(東京工業大学)、黒川 顕(東京工業大学)

## 研究活動

IPABでは、毎年1回の公開シンポジウム、および各ワーキンググループ(WG)が主催する年数回のセミナーなどを開催しています。これらの活動を通じて、生物データの情報処理を行うためのバイオインフォマティクスの技法と、その高速化を実現する先端的IT技術に関する知識を社会に啓蒙し、また会員間で迅速に共有することを目指しています。さらには各WGごとに研究調査プロジェクトを立案し、当分野のイニシアティブを取れるように研究活動の幅を広げていく計画です。

## 研究活動の様子

